

国内初の経緯台方式かつ建設当時国産最大口径の望遠鏡

登録番号	第 00392 号		
登録年月日	2025（令和7）年9月18日	登録区分	第二種 （単一又は極めて少量生産されたもの）
名称 （型式等）	宇宙科学研究所 1.3 m赤外線望遠鏡		
所在地	神奈川県相模原市 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス		
所有者 （管理者）	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所		
製作者（社）	三菱電機株式会社		
製作年	1988年		
初出年	1988年		
選定理由	本資料は大型光学赤外線望遠鏡の開発経験がなかった、のちにすばる望遠鏡を担当する設計陣がそのプロトタイプ的位置付けとして製造した、建設当時、国内初の経緯台方式かつ国産最大口径の望遠鏡である。この望遠鏡に適用された経緯台方式、フリクション駆動方式等の技術は、ドームの小型化を含む望遠鏡の低コスト化の道を開拓してその後の国産大型望遠鏡の開発コンセプトに大きな影響を与えた。また、すばる望遠鏡のみならずその後の2000年代における国内1～2 m級望遠鏡の建設ラッシュを導いたという点で重要である。		
登録基準	ーイー（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） ーロー（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		
公開・非公開	非公開		
写真	 		